

栃木県立学校

児童生徒向け 生成A I 利活用の手引き (第1版)



栃木県教育委員会

目次

1. 生成A Iとは
2. 生成A Iを利用する際の注意点
3. 利活用チェックリスト
4. 参考資料



1. 生成AIとは

生成AIは、利用者の指示で文章や画像、音声などを自動的に作り出す技術です。質問に答えたり、文章を整理したり、アイデアを出したりと、学習や創作を助けてくれる便利なツールとして、身近な場面で広く使われています。

この仕組みは、人間の脳の働きをまねた「ニューラルネットワーク」という技術を使い、膨大なデータを学習することで成り立っています。特に、文章を扱う生成AIは「大規模言語モデル（LLM）」と呼ばれる仕組みに基づき、過去に学習した情報から統計的に「もっともらしい答え」を作り出します。

生成AIはとても便利な道具ですが、まちがった答えや偏った答えが出ることがあります。また、入力した情報の取り扱い、著作権などに気をつける必要があります。使うときは「正しいかどうかを自分で確かめること」と「安全に使うこと」を忘れないようにしましょう。

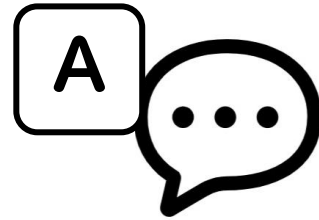
1. 生成A I とは

生成A I の活用場面（以下は代表例）

文章生成



文章の作成・要約



翻訳



プログラム生成



議論のパートナー

画像・動画生成



写真・イラスト・アニメ等の作成



音声生成



音声・音楽の作成



2. 生成A I を利用する際の注意点

情報の正確性

情報の真偽を しっかり確認

生成A I の情報は必ずしも正しいとは限りません。誤りを含む回答(ハルシネーション)や、バイアス等に注意し、情報の真偽を自分で確かめること(ファクトチェック)が大切です。

情報流出

個人情報を入力しない

セキュリティに注意し、指示文(プロンプト)に氏名や写真、成績などの個人情報を入力しないようにしましょう。

知的財産権の 侵害

著作権や 商標権に注意

生成されたコンテンツが、既存の著作物と似てしまう場合があります。著作権や商標権などの権利を侵害しないように注意が必要です。

活用者としての モラル

A I に頼り すぎない

生成A I は便利ですが、自分で調べたり考えたりすることも大切です。生成A I に頼りすぎず、必ず最後は自分で判断するようにしましょう。

3. 利活用チェックリスト

生成A Iを利用する時に、必ず全項目をチェックしましょう！

- 保護者や学校が許可した生成A Iを利用していますか。
- 氏名や写真などの個人情報を入力していませんか。
- 悪意ある不適切なことばを入力していませんか。
- 生成物の真偽を確かめていますか。（ファクトチェック）
- 自分の判断や考えが大切であることを意識していますか。
- 他人の著作物を無断で使用していませんか。
- 生成物をそのまま自分の成果物としていませんか。
- 学校のルールを守って活用していますか。



4. 参考資料

① 生成A I はじめの一步～生成A I の入門的な使い方と注意点～（総務省）

総務省が作成した生成A I リテラシーを身につけるための教材

【主な内容】

- ・生成A I の基礎知識
- ・生成A I の活用場面や入門的な使い方
- ・生成A I 活用時の注意点
- ・各テーマごとにチェック問題あり



② 情報モラル教育ポータルサイト（文部科学省）

文部科学省が作成した、情報モラル教育に活用することのできる学習コンテンツ集

【主な内容】（動画教材）

- ・「全部正しいの？生成A I って（小学生）」
- ・「うっかり入力？個人情報を守るとは～生成A I 編～（中高生）」
- ・「あなたが作るもの「著作権侵害」してない？～生成A I 編～（中高生）」

